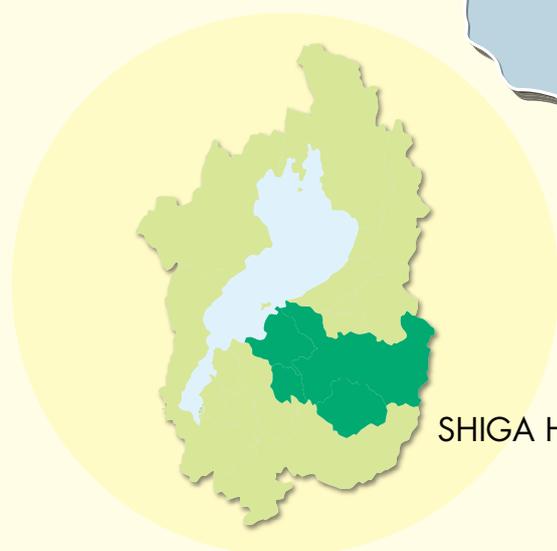
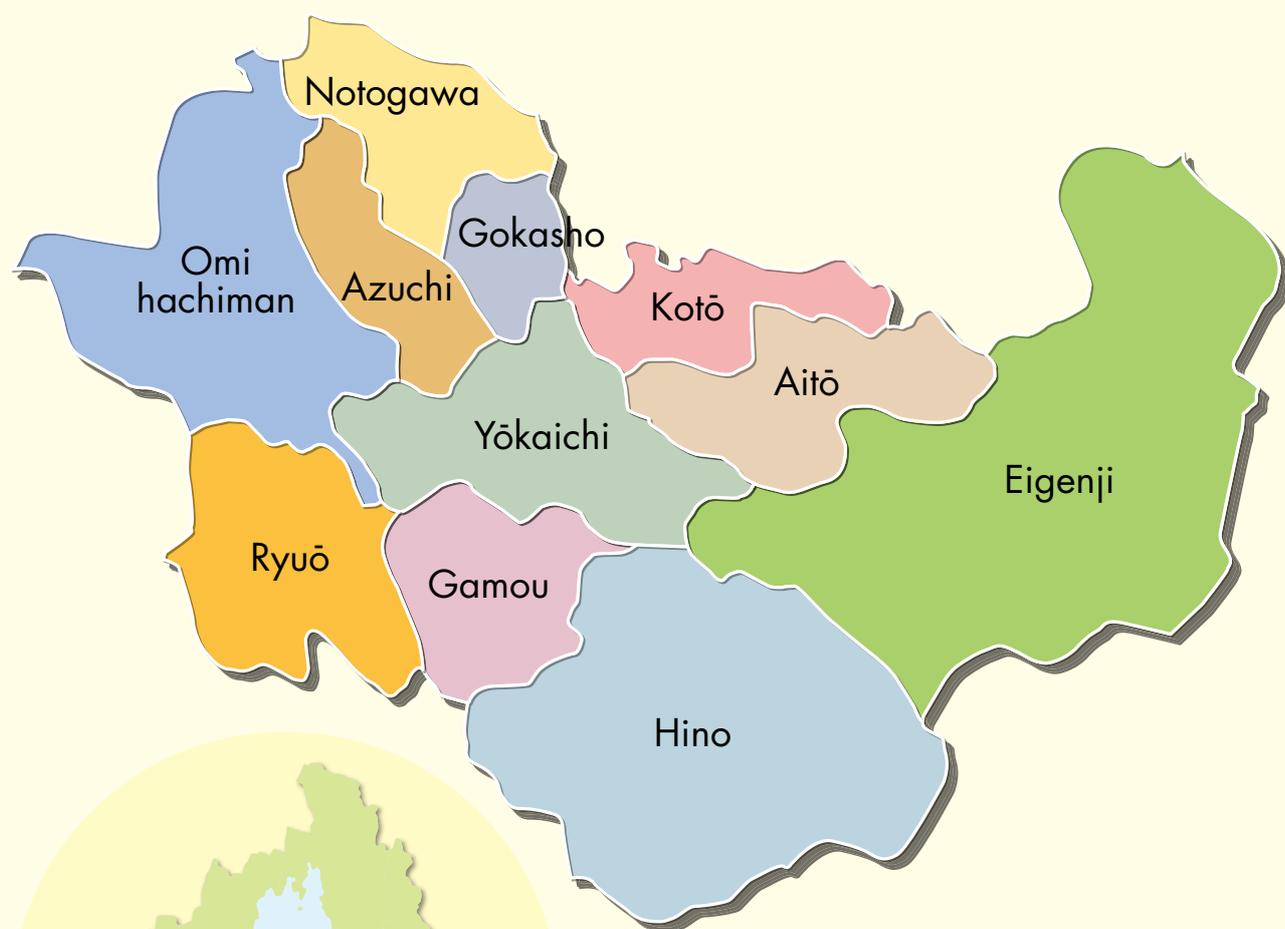


東近江地域集落営農

# 農業法人事例集

(平成27年度分)



SHIGA Higashiōmi zone

平成 29 年 3 月  
東近江地域農業センター

# 目 次

## 事 例

⑩ <sup>1</sup>	農事組合法人	北原ファーム	1
⑩ <sup>2</sup>	農事組合法人	御所内宮農組合	2
⑩ <sup>3</sup>	農事組合法人	多賀ファーム	3
⑩ <sup>4</sup>	農事組合法人	西川アグリクラブ	4
⑩ <sup>5</sup>	農事組合法人	日の出ファーム	5
⑩ <sup>6</sup>	農事組合法人	ファーム須田	6
⑩ <sup>7</sup>	農事組合法人	西山栄郷の里	7
⑩ <sup>8</sup>	農事組合法人	羽田西ファーム	8
⑩ <sup>9</sup>	農事組合法人	僧坊生産組合	9
⑩ <sup>10</sup>	農事組合法人	竹町農業生産組合	10
⑩ <sup>11</sup>	農事組合法人	川合東出宮農組合	11
⑩ <sup>12</sup>	農事組合法人	能織中之湖	12
⑩ <sup>13</sup>	農事組合法人	和田の郷	13
⑩ <sup>14</sup>	農事組合法人	香慈ファームひかり	14
⑩ <sup>15</sup>	農事組合法人	千僧供椿ファーム	15
⑩ <sup>16</sup>	農事組合法人	はしもと	16
⑩ <sup>17</sup>	農事組合法人	大森青空ファーム	17
⑩ <sup>18</sup>	農事組合法人	アグリ福堂	18
⑩ <sup>19</sup>	農事組合法人	合戸宮農組合	19
⑩ <sup>20</sup>	農事組合法人	OBATA	20
⑩ <sup>21</sup>	農事組合法人	野田生産組合	21
⑩ <sup>22</sup>	農事組合法人	浄土寺町宮農組合	22
⑩ <sup>23</sup>	農事組合法人	ファーム常楽寺	23
⑩ <sup>24</sup>	農事組合法人	ファームはやしの郷	24
⑩ <sup>25</sup>	農事組合法人	薬師グリーンファーム	25
⑩ <sup>26</sup>	農事組合法人	ドリームファーム綾戸	26

## 集落の農地を維持管理し高収入～高品質目指す経営

(農) 北原ファーム

- 法人設立日 平成27年4月1日
- 経営の品目 水稲、麦、大豆
- 構成員数(組合員数) 9戸
- 集落の水田面積 17.0ha
- 法人の経営面積 14.5ha



### ■組織体制

- 理事 (5名)
- 監事 (2名)
- 会計部 (2名)
- 生産・労働部 (3名)
- 設備・機械部 (2名)

### ■主な機械装備

トラクター50ps (1台)、コンバイン4条 (1台)、大豆コンバイン38ps (1台)、  
トラクター28ps (1台)、田植機6条 (1台)、乾田直播用播種機 (1台)

### ■法人設立の経緯

担い手育成基盤整備事業 (国政事業) の取組、付帯事業として集落営農組織加入が義務づけられ基盤整備完了後、特定農業団体北原担い手営農組合を設立。集落内の農地の保全、継続性農業経営の安定化を目指し協業による法人化を計画。平成27年4月1日に農事組合法人、北原ファームを設立。

### ■経営の特色

- ・麦、大豆 (播種前契約) で圃場面積を決定。
- ・水稲「乾田直播栽培面積を増やす。」特に品質、1等以下無し、食感も移植よりも旨い。28年度みずかがみ初試みチャレンジ中、移植方式よりも材料費、人件費が大幅にコストダウン可能 (田植、代掻不要)、台風でも倒伏しにくい。

### ■今後の計画

- ・少子高齢化避けて通れない。後継者をどうするのか、当分頭痛の種です。
- ・野菜作りにも力を入れたいが、1～10迄機械作業可能な野菜物色中です。
- ・目標 小麦収量、10a/7俵 (420kg)  
白大豆収量、10a/280kg～300kg以上

## 生産コストの削減と後世に 引継ぎが出来る営農の確立を目指す。

(農) 御所内営農組合

■法人設立日	平成27年4月1日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	22戸
■集落の水田面積	40.0ha
■法人の経営面積	水稻15.0ha 小麦14.0ha 大豆13.0ha



### ■組織体制

理事会 (5名)	—	総務 (2名)
	—	販売 (3名)
	—	機械 (4名)
	—	営農生産部 (8名)

### ■主な機械装備

トラクター50ps (2台)、トラクター36ps (1台)、トラクター25ps (2台)、  
コンバイン5条・4条・3条 (各1台)、大豆コンバイン (1台)、田植機8条 (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作の協業化から、水稻を含めた農業経営へと発展させ、今後は、一農場として経営の安定と一層の営農体制の強化を目的に法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・ 転作作物特産地として、小麦300kg、大豆300kgの収量の確立
- ・ 組織運営のコスト分析を実施、低コスト技術の導入
- ・ 米は環境こだわり作物を中心に反600kgを確保

### ■今後の計画

- ・ 省力化と所得増を図る技術の確立と研究を行う。
- ・ 地区の農地は、自分たちの手で守って行くことを合言葉で営農体制を確立する。

## 安定確実な経営で長期持続を目指す。

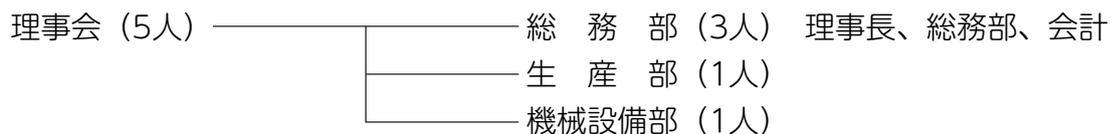
(農) 多賀ファーム

- 法人設立日 平成27年4月1日
- 経営の品目 麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 16戸
- 集落の水田面積 20ha
- 法人の経営面積 小麦 9.0ha  
大豆 6.0ha



【平成28年定期総会】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 45ps・33ps・30ps 各1台  
コンバイン4条刈 60ps 1台

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作の協業を行ってきたが、担い手の高齢化や水稻作の受託の要望もあり、法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・組合員は、麦、大豆の作業に対し協力的に出役してくれる。
- ・オペレーターは5名居るが、今後も若者中心に免許取得に努める。
- ・生産部長の年間作業計画により、計画どおり推進する。

### ■今後の計画

- ・水稻受託をして、自分達の田圃は地域で守るをモットーに頑張りたい。
- ・新しい機械導入を考える。

## 地域の担い手として次代への架け橋となろう!

(農) 西川アグリクラブ

■法人設立日	平成27年4月1日
■経営の品目	水稻、麦、大豆
■構成員数(組合員数)	38戸
■集落の水田面積	46.7ha
■法人の経営面積	水 稲 7.9ha 小 麦 13.0ha 大 豆 0.7ha 作業受託 4.2ha



### ■組織体制

理事3名	総務部	1名
監事2名	会計部	1名
	稲作部	3名
	転作部	2名

### ■主な機械装備

任意の集落営農組織、生産組合の機械を使用  
(トラクター、コンバイン等)

### ■法人設立の経緯

任意の集落営農組織を更に前進させるため、より効率の高い実効性のある組織運営を行うことが、法人組織では肝要であり、組合員の総意による法人組織を設立した。

### ■経営の特色

- ・経営分析実施による健全経営
- ・次代を担う後継者の育成により、経営のシフト化
- ・全員の積極的参加型営農
- ・コスト削減による効率的な集落営農型組織化

### ■今後の計画

- ・集落農地の担い手として受託体制の充実
- ・水田フル活用として米・麦・大豆と特産園芸作物の取り組み
- ・作付品目の品質と収量向上

## 集落の農地は集落がまもり、将来につながる農業を目指す

(農) 日の出ファーム

- 法人設立日 平成27年4月1日
- 経営の品目 麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 39戸(内農家22戸)
- 集落の水田面積 34.7ha
- 法人の経営面積 麦10ha・白大豆4.0ha



### ■組織体制

理事(7名)・営農運営委員(9名)  
生産部・総務部・作業部・新規事業部

### ■主な機械装備

コンバイン4条(2台)・トラクター(1台)  
田植機8条(1台)・乾燥機28石、45石(2台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作作業(麦)を主に行って来たが、今後も経営所得安定策の対象と成り、あわせて担い手の高齢化や後継者不足による集落からの農地離れを無くし、集落全員で守って行く為に、法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・麦、白大豆の推進部を設けチームワーク良く実施している。
- ・使用したコンバイン等の機械は、自分たちで清掃・点検・修理を行い、修理費低減を図っている。

### ■今後の計画

- ・水稻の生産にも取り組んでいきたい。

## 地域の農地、環境を守ろう。

(農) ファーム須田

- 法人設立日 平成27年4月1日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆・野菜
- 構成員数(組合員数) 5戸
- 集落の水田面積 13.0ha
- 法人の経営面積 水稻 8.5ha  
小麦 2.5ha  
大豆 2.5ha  
野菜 0.2ha



- 組織体制  
理事会 (4名)

### ■主な機械装備

トラクター50ps (1台)、トラクター30ps (1台)、田植機5条 (1台)  
コンバイン4条 (1台)、コンバイン3条 (1台)

### ■法人設立の経緯

平成19年に営農組合を設立以降、水稻、麦、大豆の作付を中心に事業を進め平成27年に法人化を行った。現在は、集落の90%近くの面積を集約し経営の効率化が図れた。

### ■経営の特色

- ・環境こだわり栽培を推進している。
- ・転作の団地化による生産性向上。
- ・野菜栽培に取り組む。

### ■今後の計画

- ・育苗、乾燥設備及び野菜果樹の生産販売
- ・地域住民との一体化を目指す。

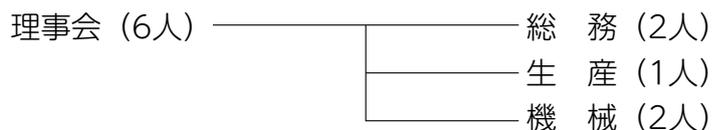
# 集落農地を地域で守りコスト縮減による経営をめざす。

(農) 西山栄郷の里

- 法人設立日 平成27年4月13日
- 経営の品目 麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 40戸
- 集落の水田面積 40.0ha
- 法人の経営面積 小麦 11.3ha  
大豆 3.9ha



## ■組織体制



## ■主な機械装備

- トラクター 50ps (2台)    コンバイン4条 (1台)
- トラクター 25ps (1台)

## ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作協業を行ってきたが、担い手の高齢化により今後、水稲作の協業化への移行を図るため法人化に踏み切った。

## ■経営の特色

- ・当面転作作物(小麦・大豆)の収穫安定を計る。
- ・高齢化になるため若年層の育成を図る。
- ・今後、水稲の協業化(一元化)を図る。

## ■今後の計画

- ・水稲の作付について、平成28年度は、トラクター作業とコンバイン作業をオペレーター付とする。

## 集落一営農と環境保全に努める農業

(農) 羽田西ファーム

■法人設立日	平成27年5月25日
■経営の品目	水稻・麦・大豆(白)
■構成員数(組合員数)	24戸
■集落の水田面積	28.4ha
■法人の経営面積	24.2ha
	水稻 15.0ha
	小麦 9.5ha
	大豆 8.3ha
	人参 0.1ha



【みんなで景観対策】

### ■組織体制

理事会 —— 経理部・営農部・企画部  
監事会

### ■主な機械装備

トラクター 50PS 2台、28PS 2台  
コンバイン 4条 2台  
田植機8条 2台、5条 1台

### ■法人設立の経緯

古くは平成4年からみんなで頑張る集落営農の支援を受け、機械の共同組織(トラクター、コンバイン、田植機 10ha)を立ちあげ、更に麦作については特団(25ha)で凌いできたが、厳しい農業情勢のもとで、ほぼ全戸が2種兼業農家である当町の農業は限界であった。このため農地中間管理機構を介して集落営農へと転換し、協業化による生産性の向上と農村地域の環境保全に努め、農業農村の継続的発展と地域振興を図ることとした。

### ■経営の特色

- ・安全で安心な農業、環境こだわり農業をスタンダードとする
- ・協業化のメリットを発揮し、地域の環境保全に努める
- ・機械作業の高効率化に努め、人手間の軽減を図る
- ・用水の節水と法面及び畦畔等の草刈を6回以上行う

### ■今後の計画

- ・経験と研修を重ねると共に、先進地の指導を会得し毎年進化する農業を目指す

## 僧坊の農業、農地を担う組合を目指して

(農) 僧坊生産組合

- 法人設立日 平成27年6月1日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 19戸
- 集落の水田面積 14.3ha
- 法人の経営面積 水稻 9.5ha  
小麦 4.3ha  
大豆 4.7ha



### ■組織体制

- |         |   |           |
|---------|---|-----------|
| 理事会     | — | 総務会計 (2人) |
| 理事 (4人) | — | 営農 (3人)   |
| 監事 (2人) | — | 機械資材 (1人) |

### ■主な機械装備

- 除草剤散布装置付麦大豆施肥播種機 (1台)、ディスク式大豆中耕培土機 (1台)  
オーガ式溝掘り機 (1台)  
※トラクター、田植機、コンバイン等は元認定農業者、農機共同利用組合より借り上げ

### ■法人設立の経緯

- ・平成26年8月  
元認定農業者の離農意向を受け法人化の集落協議開始
- ・平成26年11月  
法人化大筋合意をうけ、平成27年産小麦の集団栽培開始、以降、平成27年産水稻栽培についても取組開始
- ・平成26年6月  
法人設立、この間、県農産普及課、湖東農協等の指導を受け集落協議を実施

### ■経営の特色

- ・水稻はモチ (27a) を除き「環境こだわり農産物」生産を実践

### ■今後の計画

- ・集落の農業、農地を将来にわたって担える組織運営の早期確立

## 竹町の農地は竹町で守る。嬉しい楽しい地域づくり

(農) 竹町農業生産組合

■法人設立日	平成27年7月1日
■経営の品目	水稻、麦
■構成員数(組合員数)	39戸
■集落の水田面積	32.0ha
■法人の経営面積	水稻 1.0ha 小麦 11.4ha



【法人設立総会】

### ■組織体制

理事	5名	
(代表理事)	1名	
総務部	正副各1名	監事 2名
営農部	正副各1名	
管理部	正副各1名	
転作部	正副各1名	役員会 9名

### ■主な機械装備

コンバイン 4条 (2台)

### ■法人設立の経緯

平成18年7月に特定農業団体を発足。転作小麦の協業を進めてきたが、高齢化、後継者不足に対する対策や農業機械の共同化によるコストダウンの必要に迫られ法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・集落の全農家が営農組合に参加している。
- ・現在は、小麦の栽培が中心だが農業機械の導入に合わせて水稻の面積拡大、大豆栽培に拡大する。

### ■今後の計画

- ・法人としては、スタートしたばかりで手探り状態
- ・利益確保に努め多角経営に取り組みたい
- ・女性も働き手となれる場所づくりの推進

## 作業・コスト低減を追求する経営をめざす。

(農)川合東出営農組合

■法人設立日	平成27年7月10日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	11戸
■集落の水田面積	40.0ha
■法人の経営面積	5.4ha
	水稻 3.2ha
	小麦 8.6ha
	大豆 2.2ha
	他に水稻作業受託 1.6ha



### ■組織体制

理事会 (6人)	—	総務部 (2人)
	—	生産部 (4人)
	—	機械部 (5人)

### ■主な機械装備

トラクター38ps (1台)、コンバイン4条 (1台)、田植機8条 (1台)、田植機5条 (1台)  
トラクター30ps (1台)、ブロードキャスト (1台)、畔塗機 (1台)、播種機6連 (1台)  
シェークドレイナー (1台)、溝切機 (1台)、フォークリフト2.5t (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体の期限切れ、高齢化のため、営農組合の仲間が5人離農され、農業情勢を考えて地域の農地を営農組合が守って行くため法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・自分達の農地は法人で守る。
- ・良品の生産物の出荷を行う。
- ・稲作・小麦については、一発肥料にて作業労力の軽減を図る。
- ・近くの認定農家に大豆の播種及び刈取りを依頼、設備投資を避ける。
- ・作業は、平日65歳以上で行い、土日には65歳までの者が行う。
- ・栽培管理については、組合長と生産部長が協議、作業者に改善内容を指示する。

### ■今後の計画

- ・地域の農業者が離農される事を見越し、大型機械を導入し作業効率を上げていく。
- ・近くの農産物直売所に出せる園芸品目を考え利益確保を図りたい。

## 先達の誇りと遺産を未来につなげる

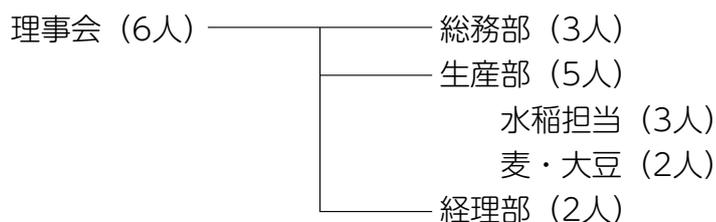
(農) 能織中之湖

■法人設立日	平成27年7月22日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・野菜
■構成員数(組合員数)	17戸
■集落の水田面積	60.0ha
■法人の経営面積	水稻 25.0ha 小麦 15.0ha 大豆 10.0ha 加工米 1.0ha 飼料米 1.0ha



【初めて取組む野菜の収穫】

### ■組織体制



### ■主な機械装備 (トラクター、コンバイン、田植機は借り上げ)

トラクター50~20ps (17台)、コンバイン2~4条 (17台)、田植機4~6条 (17台)  
管理ビークル (1台)、大豆コンバイン、フレールモア、溝切機、クリーンシーダー (各1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作部門の協業を行って来たが、人・農地プラン策定を契機に、法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・ 水稻については、大型機械の集約が実現するまでの経過措置として組合員への委託契約栽培
- ・ 水田活用の裏作については、希望者に対し個人作付を理事会権限で許可し、今後の多様な可能性を探る
- ・ 小麦と大豆栽培は基幹作業と圃場管理作業を分けて実施
- ・ 一括購入による肥料農薬の経費節減

### ■今後の計画

- ・ リスク管理をしながら、6次化等の多様な方向性にチャレンジする。
- ・ 農舎の建築を早急に行う。

## みんなで力合わせ、和みの農園作り

(農) 和田の郷

■法人設立日 平成27年7月22日

■経営の品目 水稻・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 7戸

■集落の水田面積 9.5ha

■法人の経営面積

水稻 6.0ha

小麦 3.2ha

大豆(黒) 1.0ha

大豆(白) 0.4ha

飼料米 1.8ha



■組織体制

理事 —— 生産部  
          利用部

■主な機械装備

トラクター 39ps (1台), コンバイン 4条、3条 (各1台), 田植機 6条 (1台)

■法人設立の経緯

平成10年に営農組合設立、「和田の土地は和田で守る」の合言葉で、15戸でスタートしましたが、26年に組合員の半減と大手農家の離農が重なり、急遽法人化の話が進み、設立となりました。

■経営の特色

愛知川流域に面しており25%が変形田と土壌が粘土質と加えて愛知川の水位の影響を受けやすく長年転作に悪戦苦闘しましたが、サブソイラとプラソイラの併用でかなり改善しています。全員60才以上の組合員の構成で人員確保が難しくなっています。

■今後の計画

一番の課題は、後継者の確保と耕作面積が少なく各種補助金対象にならないことが多く、近隣の町村との連携を図り規模拡大に繋がりたいと思います。

また、直売所向けの野菜の取り組みも順次進めたいと考えております。

## みんなの力で農地を生きしきる

(農) 香慈ファームひかり

- 法人設立日 平成27年8月4日
- 経営の品目 麦 黒豆
- 構成員数(組合員数) 11戸
- 集落の水田面積 27.6ha
- 法人の経営面積 小麦7.6ha  
早生黒5.9ha



【早生黒の刈取り風景】

### ■組織体制

- 理事 5名
- 代表理事 総務 企画 運営 会計
- 監事 2名

### ■主な機械装備

法人での所有機械は基本無し、セット動噴  
機械組合、個人機械借り受け

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作部門の協業を8年行ってきた。法人化の目標があったので再構築、将来性を考えて法人化に取り組んだ

### ■経営の特色

- ・2集落合同の組織である
- ・転作だけなので機械組合や個人の機械で設備は持たない
- ・2戸の認定農業者も加入しており相互に利益がある

### ■今後の計画

- ・麦作は課題があり一部でも野菜に取り組む必要がある
- ・農業者としての自覚も必要だが、高齢化のため稲作にも参画しなければならない

## 地域の農業は地域で守る

(農) 千僧供椿ファーム

■法人設立日	平成27年8月6日
■経営の品目	水稻・麦・蕎麦
■構成員数(組合員数)	14戸
■集落の水田面積	43.0ha
■法人の経営面積	水稻 13.0ha 小麦 7.0ha 蕎麦 7.0ha



### ■組織体制

理事会 (代表理事1人)	総務・会計部 (担当理事1人・部長1人・部員) 水稻事業部 (担当理事1人・部長1人・部員) 転作事業部 (担当理事1人・部長1人・部員) 施設・機械部 (担当理事1人・部長1人・部員)
-----------------	--

### ■主な機械装備

田植機6条 (1台)・育苗ハウス・乾燥施設  
その他、コンバイン・トラクター等は個人所有の機械利用規程により借用している。

### ■法人設立の経緯

集落内の農業経営者離農が増加し、このままでは集落の農地を集落の農家で守ることが難しくなってきました。特定農業団体の設立から9年が経ち、地域農業の担い手として発展していくことを目的として活動してきたが、将来の地域農業の発展、更なる農業経営の合理化と地域農業の担い手としての確固たる地位を確保し、組合員の所得向上と、千僧供町の地域農業を守ることを目標に法人を設立した。

### ■経営の特色

- ・経営は水稻も含めた一農場方式を導入。
- ・経営開始直後より、育苗ハウス、農機具、施設及び付帯設備の導入を実施し、構成員皆がやる気を持って作業できる体制を構築。
- ・理事会の定例化を導入し、各部門担当理事の定例報告の場を設けることで円滑な事業展開を促す。

### ■今後の計画

- ・更なる農地の集積に努め、経営面積の拡大と経営の安定化を図る。
- ・育苗、乾燥施設の集約化による作業の合理化と大型機械の導入による作業の効率化を図る。

法人名：農事組合法人 千僧供椿ファーム

## 次世代につなげる集落営農

(農) はしもと

■法人設立日	平成27年9月16日
■経営の品目	麦、大豆
■構成員数(組合員数)	15戸
■集落の水田面積	61.5ha
■法人の経営面積	麦 12.0ha 大豆 12.0ha



### ■組織体制

理事5名、監事1名

### ■主な機械装備

トラクター、コンバイン4条刈

### ■法人設立の経緯

- ・国、県の施策を活用し、麦、大豆を中心とした特定農業団体として取り組んできた。
- ・米価の低迷や生産調整の恒常化に対応できる体制を作り、組合員が協力して農地を守ってきたい。
- ・法人化することで持続可能な営農体制の構築と強化を目指す。

### ■経営の特色

- ・当面は生産組合で取り組んできた転作作物（麦、大豆）を中心に経営に取り組む。

### ■今後の計画

- ・2～3年後をめどに水稻を含めての経営を目指す。



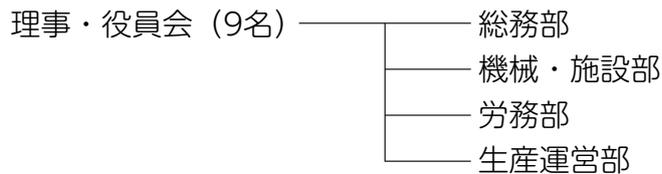
## 「福堂農業」の明日に思いを結集

(農) アグリ福堂

■法人設立日	平成27年10月6日
■経営の品目	水稻、麦、大豆
■構成員数(組合員数)	35戸
■集落の水田面積	130ha
■法人の経営面積	水稻 7.5ha 小麦 15.4ha 大豆 15.4ha



### ■組織体制



### ■主な機械装備

汎用コンバイン98ps (1台)、コンバイン6条刈 (1台)、田植機8条 (1台)  
トラクター97ps・35ps・33ps (各1台)

### ■法人設立の経緯

平成18年3月、福堂地区の農業振興、農地の効率的利用促進をはかることを目的に「福堂営農組合」を設立し集落営農に取り組んできたが、農家戸数の減少、労働力の高齢化が進むなか、やる気のある若い農業後継者が育ちつつあり、将来に向かって福堂地区で農業を守り、共同の利益を確保しながら維持発展を図っていこうという機運が高まり、組合員全員の賛同を得て法人を設立した。

### ■経営の特色

- ・ 水稻、麦、大豆等環境こだわり農産物の生産、販売、加工事業
- ・ 事業に対応した共同機械施設の設置及び共同作業
- ・ 農作業の受託事業
- ・ 農地集積等集落機能の維持・存続・発展に関する事業

### ■今後の計画

- ・ 育苗ハウス建設に伴う効率的な利用運営
- ・ 離農等に伴う受け皿としての経営面積の拡大

## めざすは FARAM GO! DO!

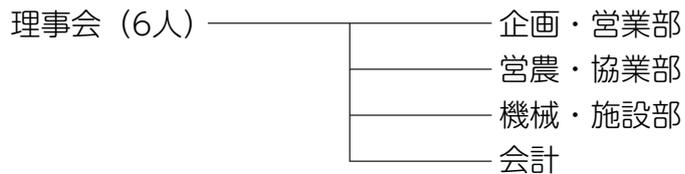
(農) 合戸営農組合

- 法人設立日 平成27年10月20日
- 経営の品目 水稲・麦・大豆・野菜
- 構成員数(組合員数) 25戸
- 集落の水田面積 35.0ha
- 法人の経営面積  
水稲 13.0ha・小麦 7.0ha・大豆 5.0ha  
ほかに、水稲を中心とした作業受託 4.0ha  
キャベツ 31.0a



【子どもたちへのサツマイモ畑の提供】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター48ps・41ps (2台)、コンバイン4条 (1台) 田植機6条 (1台)、大豆コンバイン (リース・1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体(集落営農組合)が、15年間、機械の共同利用による経費節減・転作部門の協業化・作業受委託などを担ってきたが、現行のままでは、農地所有・補助金関連・設備基金の積み立てなどがままならないことから、集落ぐるみ一農場をめざしつつ、一歩前進した法人化へ踏み出した。

### ■経営の特色

- ・水稲は、全面積で環境こだわり生産を実践。
- ・今までの生産ノウハウを生かし、5haで丹波黒大豆を作付に挑戦。
- ・土、日曜日でのオペレーター活動に、若者世代の参加を企画。
- ・女性部独自で、小豆栽培に挑戦。

### ■今後の計画

- ・組合の基地となる事務所・格納庫の新設を急ぎたい。
- ・野菜等の作付を進め、参加層の幅を広げる。
- ・生産コスト削減と生産効率化へのさらなる研修と工夫と努力を。

## 小幡の耕作地は小幡で守る

(農) OBATA

- 法人設立日 平成27年12月28日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆・WCS
- 構成員数(組合員数) 20戸
- 集落の水田面積 16.0ha
- 法人の経営面積
  - 水稻 4.7ha 麦 4.5ha
  - 白大豆 2.3ha WCS 1.7ha



### ■組織体制

- 理事 代表理事 (1名)
- 理事 (3名)
- 監事 (2名)
- 外部委託税理士 (1名)

### ■主な機械装備

トラクター (2台)、田植機 (1台)、コンバイン (1台)、コンプレッサー (1台)

### ■法人設立の経緯

- 平成27年 4月 法人化に向けた初会合
- 5月 法人名のアンケート調査、TACより説明、資料配布
- 7月 税理士、TACとの合同会議、法人化説明会、営農組合員
- 9月 理事、監事、発起人の選定
- その後、法人化準備委員会 9回会議
- 11月 発起人による戸別訪問
- 12月 最終法人化準備委員会 12月13日 設立総会開催

### ■経営の特色

小幡の耕作地は、小幡の住民で守るをモットーに、小幡営農組合を発足して取組んで参りました。発足時に営農組合で倉庫の建設を行い、大型農機具を購入、順調に営農を行って参りました。その後も業務を全組合員の総意を持って進めて参りました。全ての組合員が助け合いながら、時代の先取り経営、利益率の向上を目指して、一集落一農場を行いたいと思います。

### ■今後の計画

平成27年12月に農事組合法人OBATAを設立し平成28年トラクターを新しく購入しました。今まで、トラクター1台で対応していましたが、2台体制を作ることによって、効率化が図られるようになりました。今後は、この体制を続けながら収益面を強化し、大型機械を導入し、収益性のある作物を栽培していきたいと思ひます。

## 次世代につなげる新たな「農」へのチャレンジ

(農) 野田生産組合

- 法人設立日 平成28年1月4日
- 経営の品目 水稻、麦、大豆  
コスモス 3ha
- 構成員数(組合員数) 26戸
- 集落の水田面積 36.0ha
- 法人の経営面積  
水稻 20.6ha、小麦 12.6ha、  
大豆 9.3ha、コスモス 3.0ha

### ■組織体制

理事会 (7人)	総務部 (6名)
	営農部 (3名)
	水稻部 (21名)
	転作部 (3名)
	機械部 (5名)
	育苗部 (4名)



### ■主な機械装備

トラクター33ps (1台)、45ps (1台)、コンバイン5条 (3台)、田植機 8条 (2台)

### ■法人設立の経緯

平成2年に集団転作を目的に、前身となる生産組合が設立され、転作地のブロックローテーションの確立、景観作物コスモスの植栽、麦後大豆の二毛作への取り組みと進めてきたが、組合員の高齢化は避けがたく、次世代につなげる新たな経営体に切り替えるため、法人化に舵をきった。

### ■経営の特色

おいしい米づくりを推進しながら、「集落一農場」を目指した農業経営を目指してきたが、主食用米の在庫増から米価の下落など厳しい農業経営を余儀なくしてきた。

小規模の営農規模であり構成員も26名と少なく、まとまりを武器に発展してきた。組合員間のコミュニケーションは「思いやりのまち野田町」をスローガンに絆で結ばれている。大きなことは出来ないが、小さなことをコツコツと積み上げてゆくことが基盤づくりの要である。

先祖から受け継いだ農地は、次世代に「安心して渡せる 強靱な橋を作る」をモットーに集落営農を推進したい。

### ■今後の計画

- ・米を中心に消費者の需要動向を見ながら、ニーズに合った作物(麦・大豆・野菜等)を供給する。
- ・面的修正・規模拡大を図りながら機械・労力・農作業の省力化を推進する。
- ・野田の『コスモス景観』を継続しながら琵琶湖の環境増進に寄与する。

## 農業を通じて収穫の喜びと健康づくりを生きがいに

(農) 浄土寺町営農組合

- 法人設立日 平成28年2月5日
- 経営の品目 麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 11戸
- 集落の水田面積 20.7ha
- 法人の経営面積 小麦 5.0ha  
大豆 2.0ha



### ■組織体制

理事 (3名)、監事 (1名)

### ■主な機械装備

なし

### ■法人設立の経緯

平成18年に特定農業団体として立上げ転作部門を担ってきたが、10年の節目を迎えるにあたり法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

・転作は、小麦が主体であり該当農地の所有者が個人管理(播種～栽培管理)の責任制をとっている。

### ■今後の計画

- ・水稻の協業化に向けて
- ・集落として担い手の確保と育成をはかる

## 地域の絆で、常楽寺農業の継続化を図る

(農) ファーム常楽寺

■法人設立日	平成28年2月12日
■経営の品目	麦・大豆
■構成員数(組員数)	60戸
■集落の水田面積	90.0ha
■法人の経営面積	小麦 23.0ha 大豆 16.0ha (平成28年実績)



【小麦刈取】

### ■組織体制

理事会	5名・監事	2名
総務部	3名	
営農部	2名	
機械管理部	3名	

### ■主な機械装備

トラクター56ps (1台) 43ps (1台) 80ps (1台)  
コンバイン114ps (1台) 95ps (1台)、汎用コンバイン38ps (1台)

### ■法人設立の経緯

任意団体(常楽寺農業生産組合)として、転作(小麦・白大豆)作物を生産し、集落営農(転作)を行ってきたが、転作助成金等の要件が厳格化される見込みや集落内の農家(水稻耕作者等)が高齢と経営維持により減少傾向であることから、生産組合から転作作物主体の農事組合法人を設立し、将来的には水稻も含む集落一元化した農事組合法人を目指すこととなった。

### ■経営の特色

- ・常楽寺農地は、土地改良済みで30a基準で区画整理されており効率的
- ・麦、大豆は側条施肥
- ・集落内の認定農家(5戸)全員が加入

### ■今後の計画

水稻の機械作業の請負受託を手始めに、水稻栽培を目指す。

## 集落の農地は集落で守る

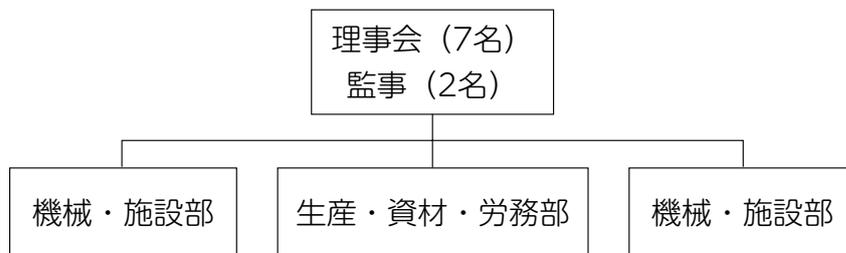
(農) ファームはやしの郷

- 法人設立日 平成28年2月12日
- 経営の品目 麦・大豆・水稻
- 構成員数(組合員数) 24戸
- 集落の水田面積 46.7ha
- 法人の経営面積 小麦 7.66ha  
大豆 4.33ha  
水稻 (平成29年より)



【ファームはやしの郷 役員】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 28ps (2台) トラクター 20ps (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として「林生産組合」を立ち上げ、米の調整田として小麦栽培を主に10年余り取り組んできました。

しかし近年、米価低迷や生産調整の恒常化等、農業情勢が大きく変化する中、従来農業を担ってきた農家も高齢化や大型化した高価農機具の変革など個々の農業経営では、対応出来ない時代になってきました。

そこで、現在取り組んでいる麦生産や今後増加する水稻委託生産等に取り組み集落の担い手として中心的役割を果たすため、農事組合法人化に踏み切った。

### ■今後の計画

小麦栽培を中心に今日まで取り組んできたが、法人としての健全な経営体系にするため大豆栽培や、水稻栽培への規模拡大を図りたい。

## 薬師の農地は、みんなで守ろう。

(農) 薬師グリーンファーム

■法人設立日	平成28年2月29日
■経営の品目	麦、水稻、大豆
■構成員数(組合員数)	57戸
■集落の水田面積	55.0ha
■法人の経営面積	小麦 12.0ha 水稻 1.0ha 大豆 0.4ha



### ■組織体制

理事 (3名)	企画部 (2名)
監事 (2名)	管理部 (3名)
	生産部 (2名)
	機械部 (2名)



### ■主な機械装備

トラクター30ps (2台)、コンバイン4条 (3台)  
トラクター25ps (1台)、田植機6条 (1台)

### ■法人設立の経緯

当集落は、集落営農として水稻委託栽培や小麦栽培を集団で取組んできましたが米価低迷や高齢化等により、年々離農者が増加してきており、営農活動にも支障が出てきています。そこで今回任意の営農組合を法人化し、「担い手の育成と営農体制の再構築と強化」をめざします。

### ■経営の特色

- ・認定農家一戸以外はすべて法人に加入していただいた。
- ・土地を他に委託に出している人も経営に参加し作業に従事している。

### ■今後の計画

- ・麦の栽培は、当グリーンファームで行う事は勿論ですが、水稻の小作及び大豆においても今後順次面積の拡大を行っていきます。

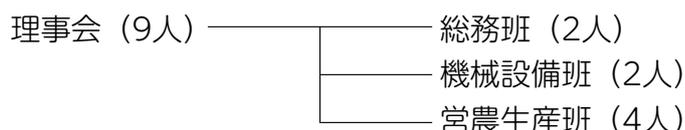
## 集落の中心的な担い手として安定した経営を目指す

(農) ドリームファーム綾戸

■法人設立日	平成28年3月8日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	30戸
■集落の水田面積	42.17ha
■法人の経営面積	水稻 18.3ha 小麦 8.0ha 大豆 4.0ha



### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター34ps (1台)、コンバイン5条 (1台)・4条1台  
田植機8条 (1台)・6条 (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作小麦、大豆に取り組む、法人化の期限が迫るなかで水稻協業化にも段階的に取り組み、将来の集落の農業を担う団体へと法人化した。

### ■経営の特色

- ・土地持ち非農家であった地主にも参画いただき、作業に従事してもらう
- ・水稻はほぼ全反で環境こだわり農産物に取り組む
- ・水稻品種 (5品種) による団地化の実践
- ・営農生産班のなかで、水稻と転作 (麦・大豆) 担当を分担

### ■今後の計画

- ・黒大豆や野菜などの栽培を検討していく
- ・経費削減や労力の軽減につながる作業体系などに取り組む



東近江地域集落営農  
**農業法人事例集**  
(平成27年度分)

発行：東近江地域農業センター

〒527-0023

滋賀県東近江市八日市緑町27-17

TEL 0748-23-0859

FAX 0748-25-1591

<http://www.higashiomi-rac.jp>